



学校だより

令和元年9月30日
横浜市立豊田小学校
10月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

豊田小「国際ロード」

学 校 長

8月末に「第7回アフリカ開発会議」が横浜で開催されました。その際に使用されたパネルの一部分を豊田小に譲っていただきました。今、本校の学校司書のプロデュースで「国際ロード～世界はここから 今から～」という名前で、図書館前に展示しています。また、その内容を、全校朝会で紹介しました。



【「国際ロード」～世界はここから 今から～】

この「国際ロード」を見て、5年生が、初めて知ったことや心に残ったことの感想を書いてくれました。以下の内容は、その一部分です。

- 「アフリカでは、まだ水道がない国があることを知りました。算数のかけ算は、かべで、おこなっていました。アフリカにはまだ、自分が知らない国がいっぱいありました。」
- 「アフリカの子どもたちが生きていくための生活が大変なことが改めて分かりました。」
- 「アフリカの子どもたちが描いた『環境絵日記』に、『しょうらいの町』という作品がありました。家や乗り物、病院、私たちの町には、『あたりまえ』にあるものでも、夢のようなそんざいであることを改めて知りました。」
- 「必要最低限以外のものは、募金に使おうと思いました。今も、友だちとお金を出し合って、募金に使おうと思います。」
- 「アフリカは、日本とちがってトイレやきれいな水、机、鉛筆、消しゴムなどの日本では、あつて普通というものがアフリカではありません。ぼくたちでも協力できるのかという疑問があるけど、協力できるなら、ぜひしたいです。」
- 「日本でも、アフリカのために働いていることに、とても感動しました。私たちも、アフリカのためにできることなら、協力したいし、食料のことももっと勉強して助けたいです。それだけじゃなくて、今も、学校に行けないアフリカの人たちの気持ちを考えて、もっと、協力していきたいと思いました。」

ここには、アフリカの現状を初めて知って、驚きの感情が生まれたとともに、今の日本での現在の生活が、決して“あたりまえ”ではないことへの気づきが生まれたようです。さらに、自分でも何かできることがあるのだろうかとの問いが生まれ、他者への思い、共感する心の広がりとともに、もっと、アフリカの現状、世界の現状について、探究していきたいとの学習意欲が高まっている様子が伺えます。

みなさん！今、世界で何が起きているのか、その“事実”を知り、学ぶことの意味を考える“一歩”を、一緒に踏み出してみませんか。